



先輩職員 インタビュー

Staff interview



艱難汝を玉にす

【現所属】 建設部 建築住宅課

経歴

○令和4年4月1日入庁 建設水道部 建築住宅課

主な業務

- ・市有建築物の建築工事の設計及び施工監理に関する業務
- ・市営（市有）住宅の建築に係る維持管理・修繕に関わる業務



どのような時にやりがいを感じますか？

自分が担当した工事の竣工時や、竣工後に建物が使用されている場面を見た時にやりがいを感じます。

市民の方と接する機会は少ないですが、工事竣工後に施設を管理・利用している方々から感謝のお言葉をいただくことがあり、そのような時は、こちらも嬉しい気持ちになりますし、自己研鑽に努める原動力になります。

また、自分の仕事が建物として形に残ることがこの職の魅力です。現地調査から設計、積算、発注、工事監理に至るまで携わった工事が竣工し、利用され始めたときは嬉しく感じます。

入庁前後の印象を教えてください

入庁前は、堅く冷たい職場をイメージしていました。

また、公共事業を担当する際には、大きなプレッシャーがありました。しかし、堅いイメージとは裏腹に先輩方が明るく和気あいあいとした雰囲気の仕事をしている姿を見て驚きを感じたことを覚えています。

今後について

入庁前に感じていたプレッシャーは、今でも時折感じることはありますが、先輩方が丁寧に指導くださりサポートしてくださっているおかげで少しは緩和してきたと感じています。

他市町と比べ、資格取得に対するサポートが満足できる内容となっており、部署においても資格取得に理解のある方が多いです。

仕事以外のサポートも行っていたため、今後は積極的に資格取得にチャレンジしていきたいです。

上司からの一言

学生から環境が一気に変わり、何もわからない状況の中でよく頑張っていたと思います。

技師採用なので、専門分野である建築に関する知識は退職するまで日々勉強です。視野を広く持ついろいろな経験してください。また、職員としては先が長いのであまり気を張り詰めすぎないようにして楽しむことも大切です。これからは頑張ってください。

市役所試験ではどのような対策をしましたか？

私は、建築技師の募集に応募したため、専門的な内容を学習する必要があり、2級建築士程度の内容について2か月前から対策を行いました。試験は、2級建築士の内容よりも簡単ではありましたが、入庁後にその身に付けた知識が生かせることもあり、勉強していて良かったと感じています。面接対策については、決まった文章を丸暗記するのではなく、自分の考えを明確に伝えることや問われていることに対して簡潔に返答を行うことを心掛けた生活を送っていました。

受験生へメッセージ

近年試験項目が増加し、内容も難しくなり、受験生にとっては厳しい試験になってきていると思いますが、頑張った過程は今後必ず役に立つ日が来ます。絶対合格するという気持ちで最後まで頑張ってください！

業務のすべてが市民と地域のためになるため、大田原市のために働きたいという方には魅力的な職場だと思います。あなたと大田原市のために一緒に働ける日々を楽しみにしています！